

投資魅力を高めるロジック半導体関連企業

世界半導体関連フォーカスファンド 追加型投信/内外/株式

- ▶ 当ファンドは主要な投資対象である「Next Generation Semiconductor Fund(円建て、ヘッジなしクラス)」(以下投資先ファンド)への投資を通じて日本を含めた世界中の半導体企業に投資を行い、半導体サプライチェーン全体から成長の恩恵を受けることが期待出来るファンドです。
- ▶ 本レポートでは、ロジック半導体と関連銘柄についてご紹介いたします。



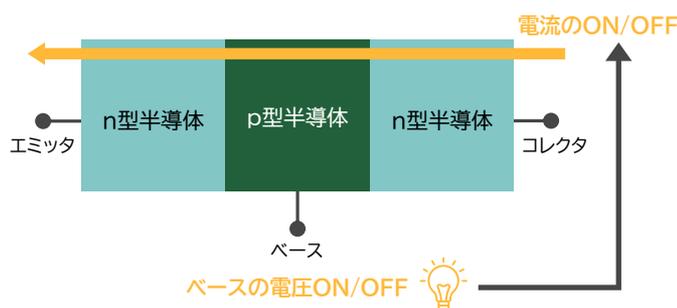
アプリケーションの頭脳となる“ロジック半導体”

ロジック半導体は、様々なソフトウェアアプリケーションの頭脳となる半導体です。ロジック半導体は非常に複雑な計算が可能ですが、実は回路の最小単位であるトランジスタでは「0」か「1」しか表さず、とてもシンプルな構造になっています。半導体という言葉は、半分電気が流れるという様に読めますが、実際には電圧のON/OFFにより、電流が流れるか流れないかのON/OFFを切り替えています(図表1)。このトランジスタを大量に繋ぎ合わせることで、様々な論理回路、ロジック半導体を作ることができるのです。

トランジスタは、一般的に数が多いほど処理速度が速くなることから、その微細化が進んできました。現在、髪の毛の数千分の1ほどのサイズにまで微細化されており、例えば2023年9月に発売された最新のiPhone15 Proに搭載されている半導体チップには、このトランジスタが約190億個も搭載されています。前年に発売されたiPhone14 Proの約160億個から30億個も増加しており、スマートフォンの高性能化を支えています。

半導体はさらなる微細化への研究が続けられており、今後も私たちの暮らしの進化と共に、トランジスタの数は増加していくと見込まれています。それに伴い、半導体メーカーへの設計支援や新たな半導体材料、半導体製造装置といった需要が拡大していくと考えられます。

図表1 最も基本的なトランジスタのイメージ

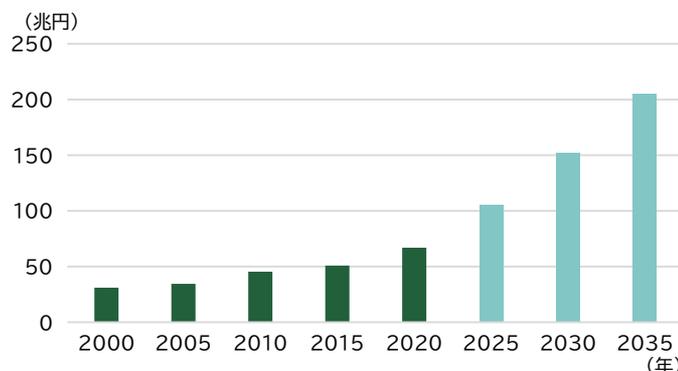


※上記はイメージ図です。

(出所)ニューバーガー・バーマン

図表2 半導体市場規模の推移

(期間 2000年～2035年)



※1米ドル=151.7円で円換算(2023年10月末時点)

※2025年以降はニューバーガー・バーマンによる2023年6月末時点の予測値

(出所)ニューバーガー・バーマン、世界半導体市場統計(WSTS)、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込み当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

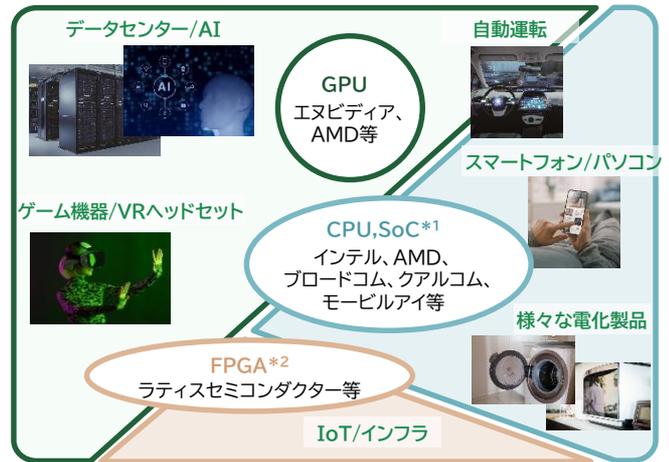


ロジック半導体で高い競争優位性を有する企業とは

CPU(演算処理半導体)、GPU(画像処理半導体)といったロジック半導体は汎用性が高く、1つのチップに必要な演算機能が一通り集積されているため、様々な用途で使うことが出来ますが、実際には用途に応じて性能を特化させており、ある程度住み分けされています。例えば、モバイル端末向けでは米クアルコム社の半導体、無線LANや通信インフラなどでは無線機能に強い米ブロードコム社の半導体が使われています。

特定の分野に強い半導体を開発した企業は、チップを繋ぎ合わせて性能をコントロールすることで、その分野のマーケットを総取り出来る可能性が高まります。したがって、より高い競争優位性を持つ企業は、私たちの暮らしを進化させるだけでなく、高い投資リターンをもたらしてくれると期待できます。

図表3 ロジック半導体の主な用途と主要関連企業



*1 SoCはSystem On Chipの略
*2 FPGAはField-Programmable Gate Arrayの略

(出所)ニューバナー・バーマン



ロジック半導体関連銘柄紹介 エヌビディア (業種：情報技術)

企業概要

エヌビディアはGPU市場におけるリーダー企業です。同社はデータセンター、ゲーミング、自動車業界向けに高性能GPUを提供しています。また、生成AIに特化した専用GPUサーバーを展開しているため、生成AIに対する需要から業績面で大きな追い風を受けています。同社はGPU向けプログラミング開発環境「CUDA」により、開発者の囲い込みに成功しており、ハードウェアとソフトウェアの両面で優位なポジションを築いています。

投資のポイント

ChatGPTを始め、非常に高性能な生成AIの登場により、様々な分野で生成AI需要が拡大し、米大手クラウド企業を中心に生成AIへの投資が急増していることから、生成AIモデル学習のための高性能GPUの需要拡大ポテンシャルは大きくなっています。同社のキャッシュフロー創出力、バリュエーションを勘案すると、引き続き株価には上昇余地が大きく、投資魅力が高いと判断しています。

図表4 エヌビディアの株価推移

(期間 2020年1月2日～2023年11月22日、日次)



図表5 エヌビディアの売上高とEPS(1株当たり利益)の推移

(期間 2021年度～2025年度、年次、予想を含む)



※ 2024年度以降は予想
※ エヌビディアの決算期末は1月

(図表4～5の出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料 : ありません。
 - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - : 純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - : 純資産総額×年率1.948%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
 - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
中銀証券株式会社	中国財務局長(金商)第6号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
株式会社中国銀行	中国財務局長(登金)第2号	○		○	

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)